

浦幌町立博物館だより

2025(令和7)年5月号

編集・発行: 浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



この春、着任した図書館司書です

図書館司書

三橋 なつみ (みつはし なつみ)



こんにちは。4月から浦幌町立図書館で勤務させていただくことになりました、三橋なつみと申します。

昨年浦幌町に滞在した際、町の人と出会うたびに「ここで暮らしたい」思いが強くなり、移住を決断。念願の北海道生活に心躍らせています。

図書館は本を借りるところというイメージが強いかもしれませんが、きっといろいろな関わり方があると思います。一人一人が好きなことに夢中になれる、そのお手伝いができたらと考えています。ときには暖を取ったり涼んだり。安らぎを得て楽しんでいってくださいね。

中身はただの大大好き人間なので、みなさんと本についてのお話をたくさんできたら嬉しいです。

どうぞよろしくお願いいたします。

図書館司書

金澤 明香里 (かなざわ あかり)



4月より図書館で勤務させていただくことになりました、金澤明香里と申します。

出身地はここ浦幌町で、幼い頃から浦幌町立図書館を利用する本が大好きな子どもでした。そのためこうして図書館司書として地元の図書館で働けることが何よりも嬉しく思います。

また、私が図書館司書という職業の存在を認知し意識するようになったのは、浦幌中学校での職業体験を通して、図書館司書と博物館の学芸員のお仕事を体験する機会に恵まれたからです。そのため、これからは図書館司書という立場から、日々の業務や各種イベント、特に職業体験や一日司書体験といったイベントを通して、図書館の魅力を伝えていけたらと思っています。

最後になりますが、前職の学童保育所の支援員時代の経験も活かしつつ、幅広い世代の方が利用しやすい環境づくりに努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています！

手作りの布マスク



コロナ禍の初期のころは店頭からマスクが急に消えてしまい、布マスク作りが一種のブームになりました。あれから5年がたちましたが、当時の記憶ははやくも薄れつつあります。

コロナ禍におけるマスク騒動は、風俗史の一断面といえます。手作りの布マスク

は時代資料として有用だと考え、収集を続けています。

写真は勝見若佐さんから寄贈された布マスク各種。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

にゃんこ関西弁辞典



西川 清文 著

2025年1月 飛鳥新社発行

日本各地には、それぞれ特徴を持った個性的で豊かな方言があります。関西弁もその一つ。「えらいこっちゃ」「あかん」「おおきに」など、皆さんもテレビや動画、漫画や小説などを通して聞いた事がある方も多いいかもしれません。そんな関西弁をかわいらしい猫の写真を楽しむと共に、学ぶ

ことができる一冊です。この本を読めば関西弁のことがよりわかるかも…?ぜひ手に取ってご覧ください。

(浦幌町立図書館 司書 部田麻紗乃)

【配架場所】

818.6/ニ
(言語コーナー)



5月の博物館お知らせ

企画展

アイヌ伝統文化作品展

4月26日（土）

5月18日（日）

10:00～18:00



場所:博物館特別展示ホール

主催:ラポロアイヌネイション 共催:浦幌町立博物館

移動博物館

青い鳥をさがそう！

日時:5月4日（日）7:00～9:00

集合:うらほろ森林公園駐車場
(みのり館前駐車場)

講師:トリおばさん

定員:なし



幸せを運ぶ青い鳥オオルリをみんなで探します。

展示解説

うらほろ初心者のための 展示解説



5月4日（日）

11:00～12:00

14:00～15:00

(同じ内容)

参加無料・申し込み不要
場所:博物館展示室

転勤・転校、移住など、はじめて浦幌へ来られた方
向けに、展示室で浦幌を
解説します。

移動博物館

マルミノウルシ観察会

日時:5月6日（火・祝）9:00～12:00

集合:浦幌町立博物館

定員:8名（電話・メールで申込受付）

※自家用車利用の方は申込不要です。

トウダイグサ科の絶滅危惧植物を見に、豊頃町の自生地
へ観察に行きます。

野外巡検

知っとこ！うらほろ

駆け足で浦幌を北から南まで

日時:5月10日（土）9:30～17:00

集合:浦幌町立博物館・参加無料・昼食持参

定員:8名（電話・メールで申込受付）

新しく浦幌へ来た人向けに、午前中は上浦幌地区、午後は下浦幌地区を中心に、駆け足で町を一周します。

国際博物館の日記念講座

急激に変化するコミュニティに おける博物館の未来

講師:持田 誠

当館学芸員

5月14日（水）

19:00～20:00

場所:博物館

入場無料

世界規模で絶え間ない変革が進む時代において、博物館は様々な社会的ニーズに応えていくことが期待されています。
現代社会における博物館とコミュニティとの関係を考えます。

★毎年5月18日は国際博物館の日です★

入館料:無料

開館時間:10:00～18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
資料調査等は事前に電話かメール
にてお申し込みください。

4～5月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休館日:月曜日・月末資料整理日

連休中は28、30日、7日のみ休館です。
5月は30日（金）が月末資料整理休館日です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です！

【運賃】

帯広～浦幌間 1380円(片道)

釧路～浦幌間 1800円(片道)

4月1日から運賃が改定されました



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間

釧路市より国道38号線約1時間半

道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)

E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp